

特別展

100年の時

〈明治・大正期刊行本〉探訪

2024.2月3日(土)～3月24日(日)

【開館時間】9:30～17:00(入場は16:30まで)

【休館日】月曜休館 ただし、2月12日は開館し、2月13日(火)は休館。

を超える



①



②



③



④



⑤



⑥



⑦



⑧



⑨



⑩



⑪

観覧料：一般500(400)円、高大生250(200)円 中学生以下・65歳以上無料

* ()内は10名以上の団体料金 * 学校の教育活動の一環として観覧する小中高生と引率者、身体障害者手帳などをお持ちの方と引率者などは観覧無料となります。詳細は文学館までお問い合わせください。

主催：北海道立文学館、公益財団法人北海道文学館(北海道立文学館指定管理者) 後援：札幌市、札幌市教育委員会

北海道立文学館 特別展示室

中島公園 | HOKKAIDO MUSEUM OF LITERATURE
〒064-0931 札幌市中央区中島公園1-4 tel.011(511)7655

<http://www.h-bungaku.or.jp/>

①『月に吠える』(著：萩原朔太郎、感情詩社・白目社、大正6年)表紙絵：田中恭吉 ②『第二の母』(著：武者小路実篤、聚英閣、大正8年)装幀：岸田劉生、彫刀：伊上凡骨 ③『フレップ・トリップ』(著：北原白秋、アルス、昭和3年)装幀：思地孝四郎 ④『東京紅燈籠』(著：吉井勇、新潮社、大正5年)装幀：竹久夢二 ⑤『童謡集 青い眼の人形』(著：野口雨情、金の星社、大正13年)画、装幀：藤谷虹児 ⑥『愛の詩集』(著：室生犀星、感情詩社、大正6年)装幀：思地孝四郎 ⑦『青海波』(著：与謝野晶子、有朋館、明治45年)装幀：藤島武二 ⑧『新曲 浦島』(著：坪内逍遙、早稲田大学出版部、明治37年) ⑨『ブツ太郎鍛冶屋』(作・画：武井武雄、金の星社、大正15年)画、装幀：武井武雄 ⑩『春と修羅』(著：宮沢賢治、関根書店、大正13年)画、装幀：阿部芳太郎 ⑪『美しき半蔵』(著：素木しづ、玄文社、大正7年)装幀：橋口五葉

明治・大正——この時代、西洋の制度や文化を取り入れて世の中が大きく変わり、今の我々の社会や生活の基盤がつくられます。多くの混乱を伴いながら急速な近代化への道を進む中で、本の世界にも当時の文学の新潮流や社会情勢が反映され、多種多様な書籍が出版されました。併せて装幀も抒情的な感性を示すもの、色鮮やかでモダンなものなどが次々と登場し、魅力が尽きません。

北海道立文学館では、貴重な初版本も含め、この時期に刊行された本を多数所蔵しています。1926年に大正が幕を閉じてから、100年が経とうとする今、近代日本の息吹を感じさせる本の数々によって、明治・大正という時代に思いを馳せていただければ幸いです。



①



②



③



④



⑤



⑥

- ①『思ひ出』（著：北原白秋、東雲堂書店、明治44年）装幀：北原白秋
②『白羊宮』（著：薄田泣童、金尾文淵堂、明治39年）
③『ラムラム王』（作：武井武雄、叢文閣、大正15年）図、装幀：武井武雄
④『悲しき微笑』（著：露谷虹児、交蘭社、大正13年）装幀：露谷虹児
⑤『お日さま』（著：三木露風、アルス、大正15年）装幀：恩地孝四郎
⑥『淫売婦』（著：葉山嘉樹、春陽堂、大正15年）装幀：柳瀬正夢

●常設展のご案内／北海道の文学（通年開催）

北の大地に育まれた北海道の文学。自筆原稿や初版本など貴重な資料を展示。

観覧料：一般500（400）円、高大生250（200）円 中学生以下・65歳以上無料。
（ ）内は10名以上の団体料金。高校生は土曜日無料。＊詳細はお問い合わせください。

常設展
文学館アーカイブ

「来道歌人の詠んだ北海道」 2024年1月16日（火）～3月24日（日）
品子、茂吉、牧水らが北海道で詠んだ短歌を自筆資料を交え紹介します。

●次回・特別展のご案内（予定）

「虚子・年尾と北海道」 2024年4月20日（土）～6月9日（日）

観覧料金：一般500（400）円、高大生250（200）円、中学生以下・65歳以上無料

特別展

100年の時を越える

〈明治・大正期刊行本〉探訪



『源氏物語情話』（著：吉井勇、新潮社、大正7年）装幀：竹久夢二

〔会期中のイベント〕

◆ミニ展示解説 & 朗読会

学芸員によるミニ展示解説の後、明治・大正期に刊行された小説や詩を日替わりで朗読します。

2月17日（土）、2月21日（水）、2月28日（水）、3月2日（土）、3月6日（水）、
3月13日（水）、3月16日（土）、3月20日（水・祝）

いずれも11：00～ 約40分 特別展示室

○朗読：公募によるボランティア朗読者

○朗読作品（順不同） 有島武郎「一房の葡萄」／有島武郎「生れ出る悩み」／
芥川龍之介「杜子春」／芥川龍之介「白」／宮沢賢治「春と修羅」より「永訣の朝」
「松の針」「無声慟哭」「オホーック挽歌」／夏目漱石「坊ちゃん」より部分
／泉鏡花「高野聖」より部分／素木しづ「美しき牢獄」より部分

＊各作品が朗読される日程や朗読者名などの詳細は、別途ホームページ等でお知らせします。

＊当日展覧会チケットをお求めの上、特別展示室にお越しください。
（各回先着30名程度）

＊65歳以上の方は、年齢のわかるものを受付にてご提示により無料となります。

＊お席の準備は10：45頃整います。椅子の配置中は、着席を制限させていただきます。

＊開催時は、展示室の一部がこのイベントの会場となります。準備・撤収を含め、ご迷惑をおかけしますが、ご了承ください。

◆コンサート

「歌声とともに」

3月3日（日） 14：00～ 約1時間 当館講堂 無料

出演：安達彩子（ヴォーカル）

ピアノ伴奏：森希美

曲目：「ふるさとの四季」（唱歌メドレー）ほか

＊要申込：2月16日（金）9：00～電話受付（先着順・定員50名）

北海道立文学館

〒064-0931 札幌市中央区中島公園1-4

●地下鉄南北線【中島公園駅（出口③）】または

【幌平橋駅（出口①）】から徒歩6分

●市電【中島公園通】から徒歩10分

●JRバス【中島公園入口】から徒歩4分

【お問い合わせ】

tel.011-511-7655

fax.011-511-3266

http://www.h-bungaku.or.jp/

施設設置者：北海道教育委員会

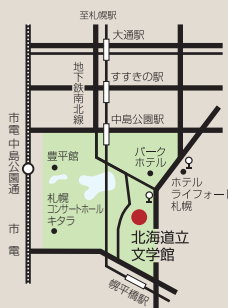
（教育庁生涯学習推進局文化財・博物館課（代）011-231-4111）

指定管理者：公益財団法人北海道文学館

フェイスブック、X（旧ツイッター）でも情報発信中！



当館HP



道立文学館

検索